

令和7年度 「博物館機能強化推進事業(専門の人材派遣)」 説明会資料

2025/07/18



Agenda

- | | | |
|----|------------|----|
| 1. | 開会のご挨拶 | 03 |
| 2. | 本説明会の趣旨・目的 | 05 |
| 3. | 本事業の内容 | 10 |
| 4. | 応募方法 | 33 |
| 5. | 質疑応答 | 40 |

1

開会のご挨拶

1. 開会のご挨拶

文化庁 博物館振興室

博物館支援調査官 中尾 智行 様

2

本説明会の趣旨・目的

2. 本説明会の趣旨・目的

本事業における応募開始を前に、各博物館の皆様の本事業を正確に理解していただくことが最大の目的

- **本事業における支援内容**とともに、本事業の位置づけについても説明いたします。
- 博物館または博物館関連団体等／専門家／事務局の**役割と関係性**を明確にいたします。
- **専門家派遣フロー**を説明し、各フェーズにおける注意点や必要な作業等についてもご説明いたします。

2. 本説明会の趣旨・目的


博物館に求められる役割の多様化・高度化を受け、博物館法が改正され、博物館運営は転換期に

博物館を巡る国内動向

- まちづくり・国際交流、観光・産業、福祉等の関連機関との連携（文化芸術基本法）
- 地域文化財の計画的な保存・活用の促進（文化財保護法）
- 文化観光拠点施設としての役割（文化観光推進法）

国際的な潮流

- 「文化をつなぐミュージアム」として社会的・地域的課題と向き合うための場（ICOM京都大会）



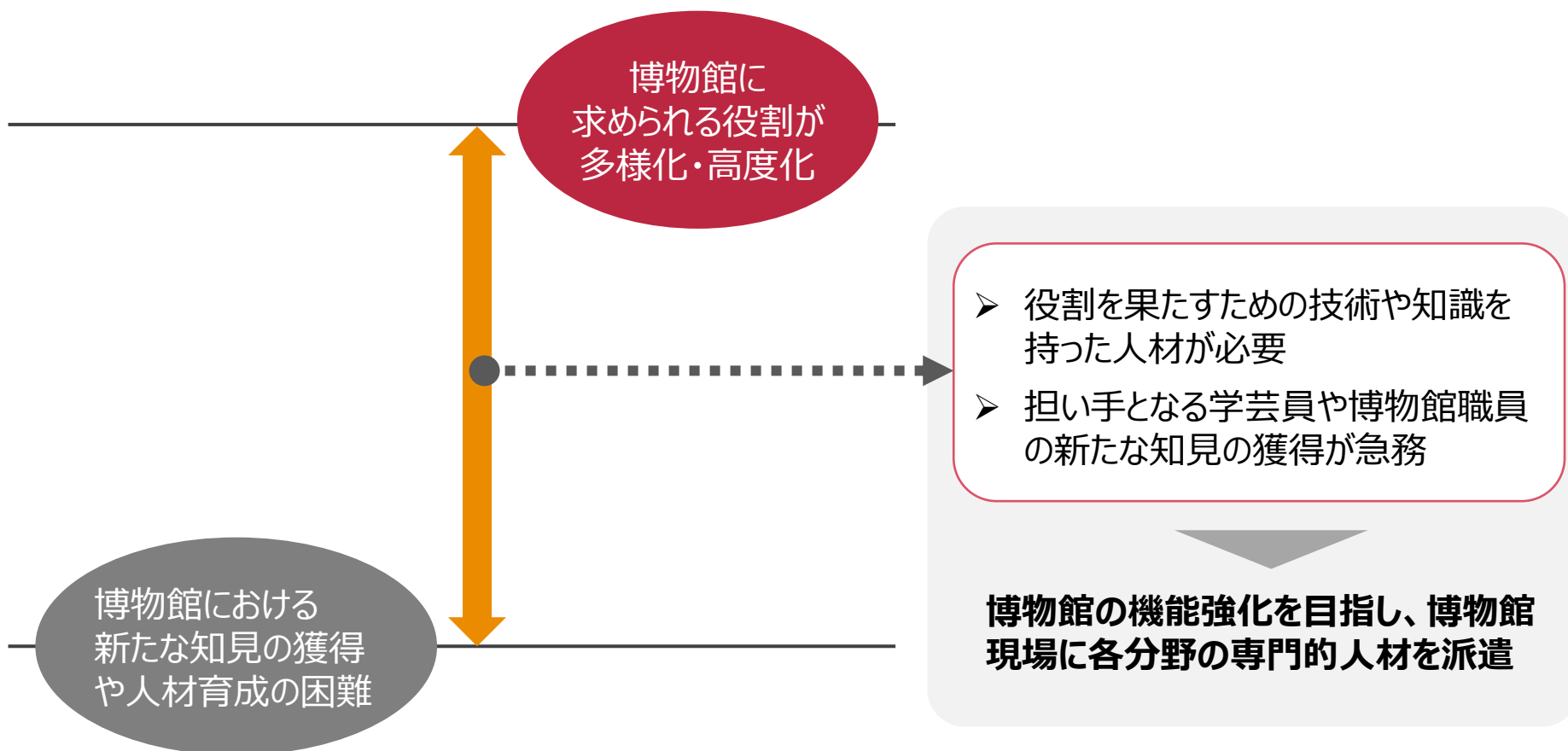
博物館に
求められる役割が
多様化・高度化

博物館法の改正

- デジタル・アーカイブの作成と公開が博物館事業に
- 多様な主体と連携した地域の活性化への寄与が努力義務化
- 博物館の持続化と発展のための好循環の形成や経営基盤強化を見据える必要性 等

2. 本説明会の趣旨・目的

博物館が求められる役割を果たすうえでは、担い手となる学芸員や博物館職員の皆さまの新たな知見・ノウハウの獲得が急務



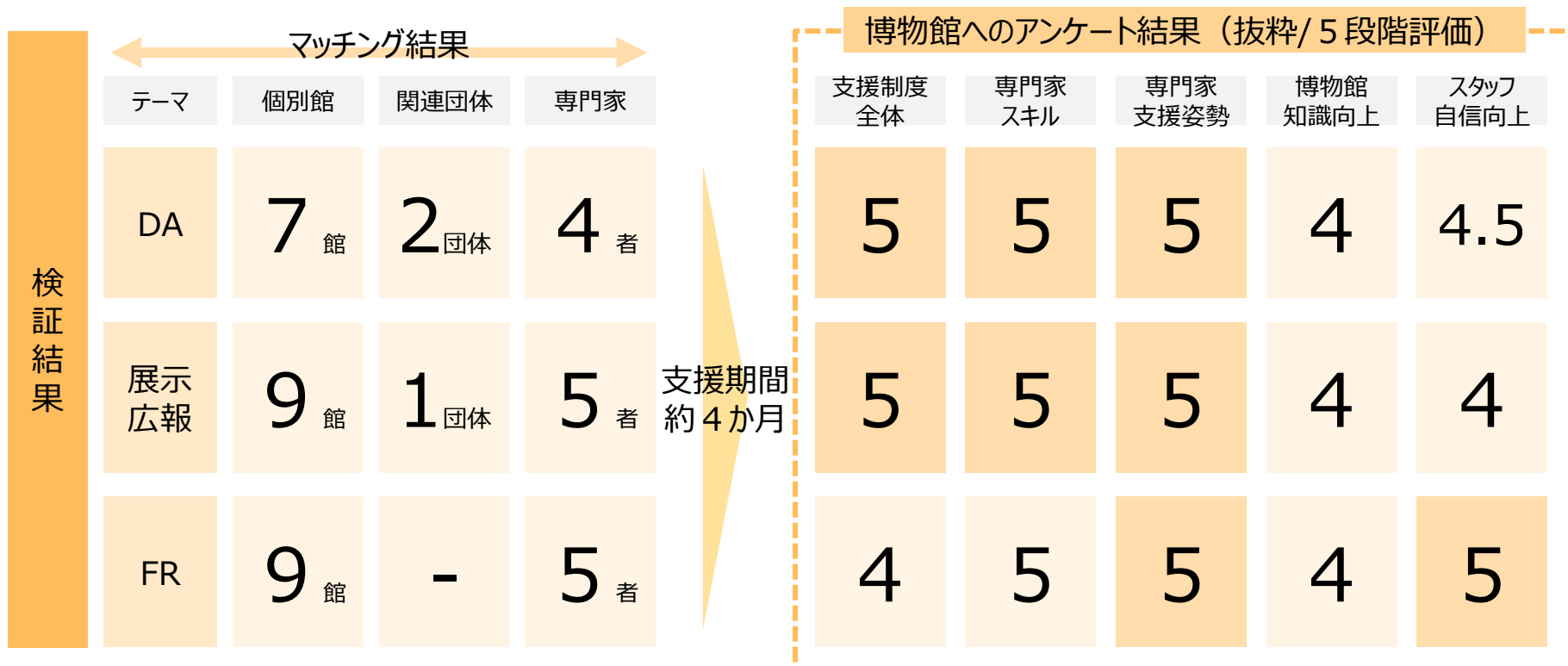
- 専門的な人材を確保するための予算不足
- 学芸員志望者の減少
- 業務多忙で新たな知見を学ぶ機会確保が困難

2. 本説明会の趣旨・目的

昨年度実証事業では、25の個別館と3つの関連団体に対して専門家を派遣し、事後アンケート結果でも高評価を獲得

全体概要

博物館の機能強化にあたり、それぞれの博物館が主体的に実施する課題解決の取組に対して、その課題解決に関する専門性を有する専門家が伴走支援し、その成果を取りまとめて次年度以降に向けた示唆出しを行うもの



3

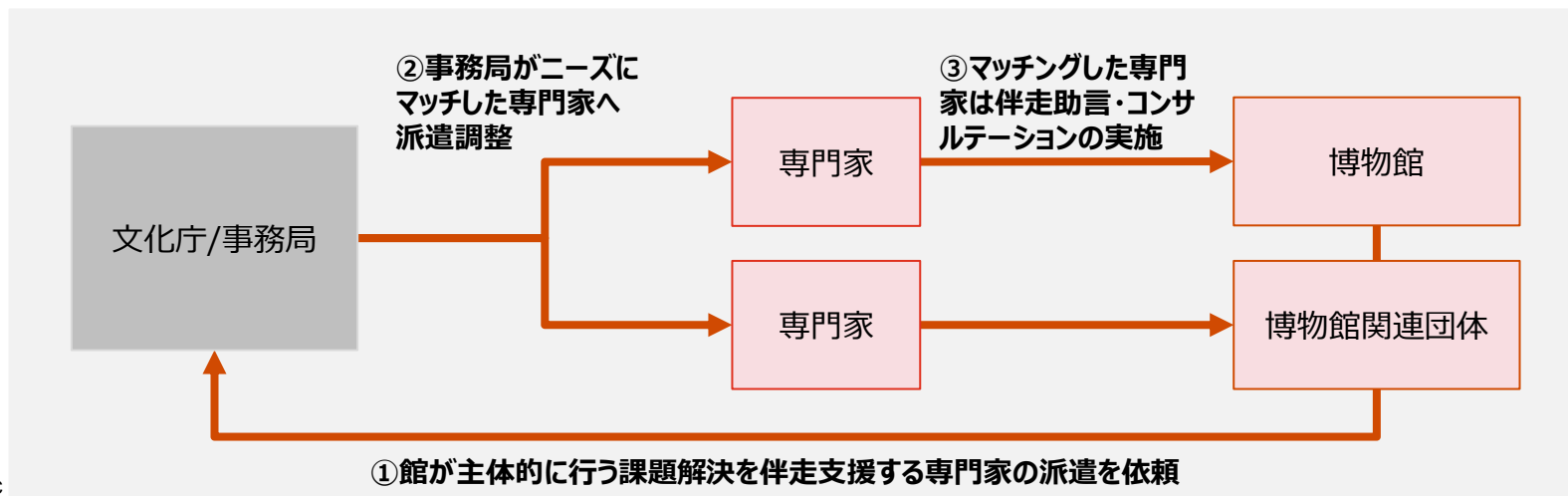
本事業の内容

3. 本事業の内容

全国の博物館が抱えている館毎の課題に対応可能な専門家を派遣し、伴走型の支援を実施

本事業で取り組むべきこと

- 全国の博物館の多くは、前述のとおり、人員、予算や課題解決に必要なノウハウの不足、またその不足からくる学芸員の慢性的な業務多忙などを理由として、課題を認識しながらも真正面から取り組むだけのリソースが無いというジレンマに陥っています。
- そこで、自ら課題を認識しながらも人員、予算やノウハウ不足などの理由により取り組めていない博物館に対して、その課題解決の専門家を本事業において派遣し、館の主体的な取り組みに対して伴走しながらの支援を実施いたします。

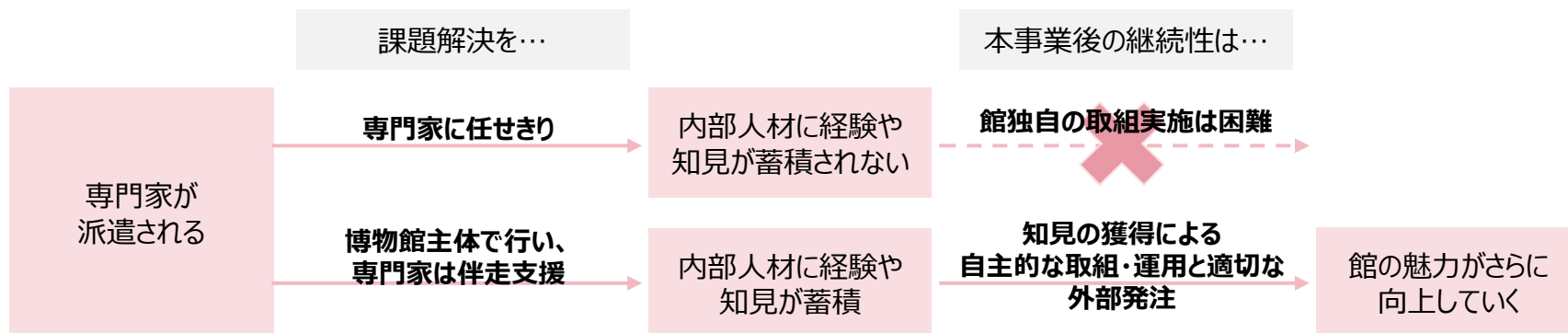


3. 本事業の内容

本事業での課題解決の主体を専門家ではなく博物館側とすることで、本事業後も各館での継続的取組が可能

本事業を実施していく上で最も注意するポイント

- 本事業を一過性のものとしなないためには、派遣を受け入れた各博物館において、専門的な知見や技術の獲得による人材養成が進むことが何より重要であるものと考えています。
- そのため、本事業において派遣される専門家の役割はあくまで伴走支援であり、専門的な知見や技術の共有です。各館における課題解決の主体は博物館であり、専門家による伴走支援をうけることで、いわばOJT（On The Job Training）のように人材育成を促進することが目的です。



3. 本事業の内容

昨年度事例：デジタルアーカイブ

Player① 博物館

| | |
|------|---|
| 名称 | 大阪府立近つ飛鳥博物館 |
| 所在地 | 大阪府南河内郡河南町 |
| 来場者数 | 72,663 名（2022 年度） |
| 館種 | 歴史 |
| 設置者 | 都道府県 |
| 法区分 | 登録博物館 |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none">考古資料を中心とする館蔵資料について、デジタルアーカイブ化を推進したいが、方法について技術的にどのような選択肢があるか理解できていないという課題あり |

Player② 専門家

| | |
|----|---|
| 概要 | <ul style="list-style-type: none">歴史資料のスキャンが得意とするデジタルアーカイブ事業者 |
|----|---|

Output 支援内容

| | |
|---------------|--|
| 1 日目 現地 | <ul style="list-style-type: none">【博物館】DA構築の希望と課題を共有【専門家】フローや公開方法を説明【双方】収蔵品の確認後、三次元データ化と公開方法を議論 |
| 2 日目 オンライン | <ul style="list-style-type: none">【専門家】三次元計測とモデル化の講義を実施【博物館】公開方法や情報選択を相談【双方】次回に向けて、博物館が手順と役割分担の素案を作成する旨で合意 |
| 3 日目 オンライン | <ul style="list-style-type: none">【専門家】無料ソフトウェアの説明を実施【博物館】デジタルアーカイブの手順や役割分担、データ管理方法について相談 |

Outcome 支援結果

伴走支援の結果、デジタルアーカイブ構築、三次元計測とモデル化、公開のそれぞれに対して、**館にとって最適なシステムを特定することができた**

3. 本事業の内容

昨年度事例：展示・広報

Player① 博物館

| | |
|------|---|
| 名称 | 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 |
| 所在地 | 岐阜県各務原市 |
| 来場者数 | 260,134 名（2024 年度） |
| 館種 | 理工 |
| 設置者 | 都道府県・市町村 ※共同運営 |
| 法区分 | 指定施設 |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none">HP や SNSをベースに対外的な広報活動を行っているが、SNSはフォロワー数が伸び悩む状況2024年度のテレビ取材は8回（うち県外からの取材は2回）と、テレビやラジオについても伸び悩んでいる状況 |

Player② 専門家

| | |
|----|--|
| 概要 | <ul style="list-style-type: none">広報広告に関する知見と実績を有する専門事業者 |
|----|--|

Output 支援内容

| | |
|---------------|---|
| 1 日目 現地 | <ul style="list-style-type: none">【博物館】施設内展示品の確認と案内【双方】SNS使用の目的確認・現状分析の共有【専門家】聞き取りを踏まえて提案【双方】提案に関する意見交換と質疑応答 |
| 2 日目 オンライン | <ul style="list-style-type: none">【専門家】SNS投稿作業の困難に対してのアドバイス、アナリティクス分析結果のフィードバックと改善アドバイスを実施【双方】HP解析についてトレーニング |
| 3 日目 オンライン | <ul style="list-style-type: none">【双方】SNSの企画展開、アナリティクス分析のフィードバック、PR活動の具体的なアクション方法について意見交換 |

Outcome 支援結果

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"><u>今後実施すべき施策の内容を策定することができた</u>マスメディアに取材されるような方法（打ち手）についても整理をすることができた |
|---|

3. 本事業の内容

昨年度事例：ファンドレイジング

Player① 博物館

| | |
|------|--|
| 名称 | アートギャラリーミヤウチ |
| 所在地 | 広島県廿日市市 |
| 来場者数 | 2134 人（令和 6 年度） |
| 館種 | 美術 |
| 設置者 | 私立 |
| 法区分 | 指定施設 |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none">企画展やイベントを充実させ、来館者の鑑賞体験を深める試みを進めているが、主な財源である<u>賛助会員を獲得するための営業活動が十分にできていない</u> |

Player② 専門家

| | |
|----|---|
| 概要 | <ul style="list-style-type: none">広報・ファンドレイジングの実績を多数有する、ファンドレイジングコーディネーター |
|----|---|

Output 支援内容

| | |
|------------|--|
| 1 日目 現地 | <ul style="list-style-type: none">【専門家】会費募集と寄付の講義を実施、他館事例や課題をリスト化【博物館】展示案内と使用ツールを確認【専門家】感謝を伝える活動の講義を実施 |
| 2 日目 現地 | <ul style="list-style-type: none">【専門家】支援第 1 回の内容を踏まえ、博物館・専門家が博物館の特徴や強みを書き出すワークショップを実施 |
| 3 日目 現地 | <ul style="list-style-type: none">【双方】館の紹介のための情報整理を実施【双方】賛助会員特典内容を見直し、特典表の素案を作成 |

Outcome 支援結果

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">財団の取り組みや特徴を理解することが寄付集めに重要であることへの理解することができた会員制度の見直しと特典プランの作成が行われ、<u>パンフレット更新や活動の見直しへも繋がった</u> |
|---|

3. 本事業の内容

各館における主体的な課題解決に向けた取り組みを伴走支援 することができるように事業を設計

| 項目 | 内容 | 詳細 |
|------------|---|-------------|
| 事業期間 | 2025年9月上旬から2025年2月末まで | P.17 |
| 募集期間 | 2025年7月18日（金）から2025年8月10日（日）まで | P.17 |
| 支援 スキーム | （該当ページを参照） | P.18 -19 |
| 支援テーマ | ①デジタルアーカイブ、コンテンツ造成支援、知識・技術の提供 ②展示や広報発信の改善を行うための支援、知識・技術の提供 ③ファンドレイジング活動支援、知識、技術の提供 | P.20 -23 |
| 対象館 | 個別博物館等…30施設 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 館種・規模は問いません。登録博物館・指定施設のみ（申請中含む）が対象です。 博物館関連団体等…3団体 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域の博物館協会や館種別団体・ネットワーク、または複数の館と連携した地域の中核的な位置づけを担う館（中核館）が対象 ➢ 加盟または連携する博物館に対する全体的な研修の実施や、各館における伴走支援について取りまとめを行うことを想定しています（必ず全体への研修実施と加盟・連盟館への個別館の両方を行うこと） | P.25 |
| レベル | 解決に向けて高い専門性を必要とするものから汎用的なノウハウで足りるものまで幅広く想定 | P.26 |
| 支援日数 | 個別博物館等 最大30時間（専門家による準備時間、報告書作成時間も含む） 博物館関連団体等 最大150時間（専門家による準備時間、報告書作成時間も含む） | P.27 |
| 派遣人数 | 原則1名（例外的に複数名の場合もあり） | P.28 |
| 費用負担 | 専門家派遣に関する費用は本事業主体が負担（※博物館側に費用負担は生じない ※例外は後述） | P.30 |

3. 本事業の内容

本説明会終了後ただちに募集開始し、9月上旬から2月末までを事業期間として本事業を実施

本事業における想定スケジュール

スケジュールの留意点

2025（令和7）年

- 7/18（金） 説明会開催
- 7/18（金） 事業募集開始 ●
- 8/10（日） 事業募集終了
- 8/11（月） マッチング開始 ●
- 8/31（日） マッチング終了
- 9/ 1（月） 順次派遣支援期間開始

事業用HP上に登録用URLを貼付

必要に応じて博物館の皆様追加のヒアリングを実施

年度内完了が必須のため期間厳守

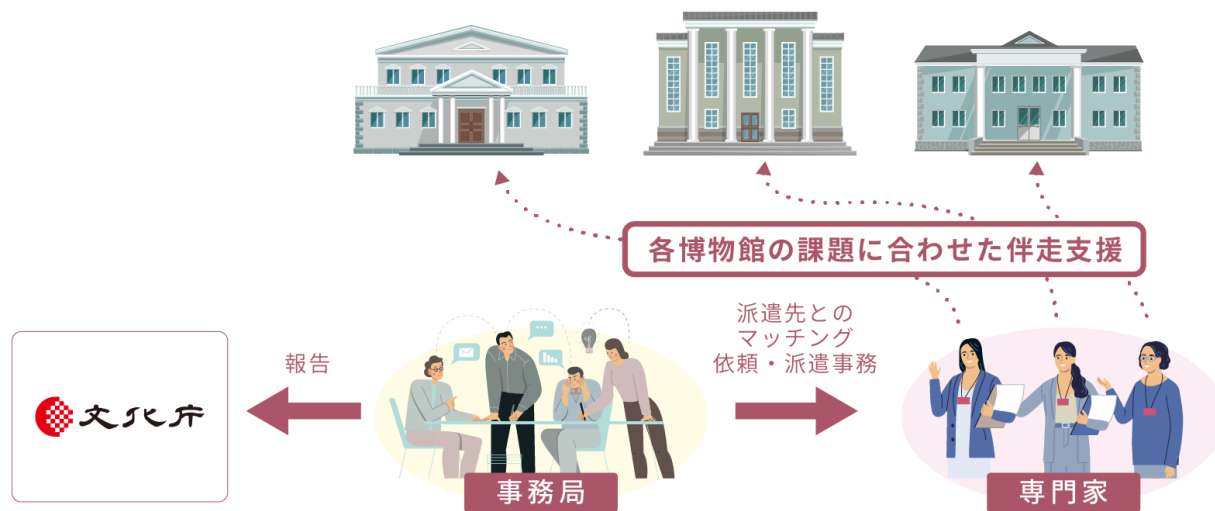
2026（令和8）年

- 2/28（土） 派遣支援期間終了 ●
- 3/31（金） 報告確認手続き終了

3. 本事業の内容

博物館に専門家を派遣し、博物館側が主体的に課題解決していく取組に対して、専門的知見に基づくアドバイスや指導を実施

支援の全体像



博物館に対する伴走支援の具体的なイメージ

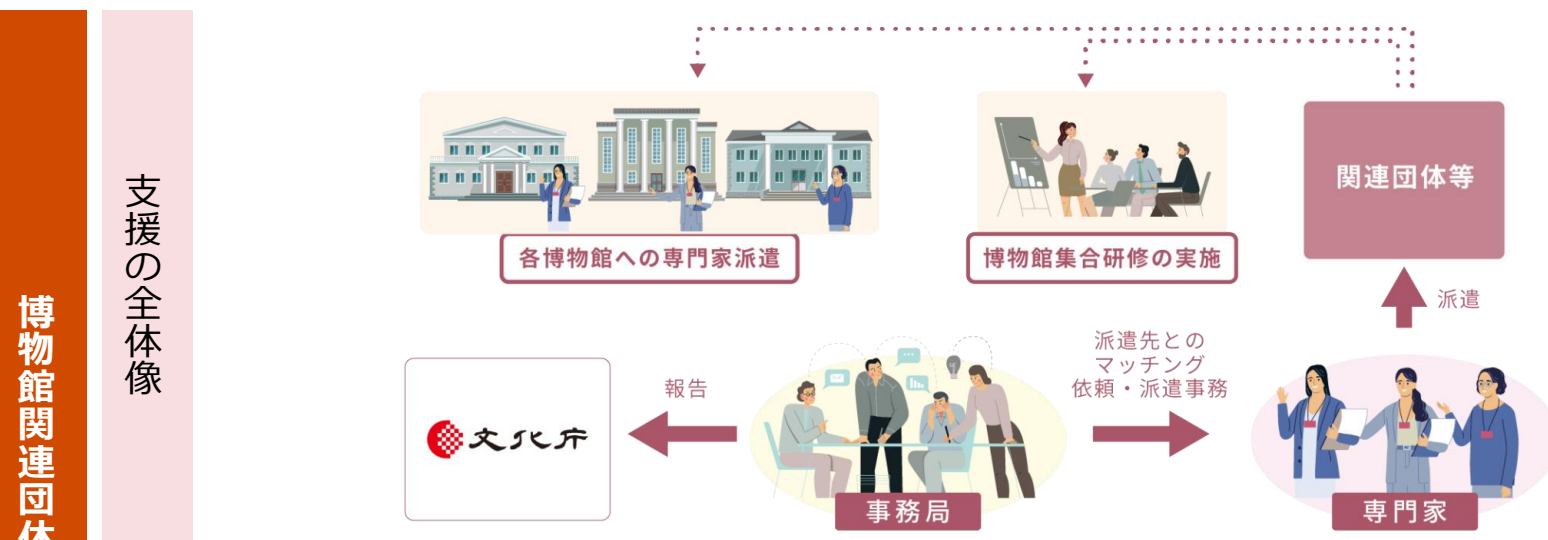
- 本事業で各館が抱える課題を解決する主体は博物館の皆様です。
- 各テーマの専門家は、**博物館が自ら実施する課題解決に向けた取組に伴走し、各館の現状を踏まえて専門的知見に基づいて助言やコンサルテーションを実施いたします。**
例) 収蔵品のデジタルアーカイブ化に向けて、一般的に注意すべきポイントに加えて館の現状を踏まえた作業手順等のアドバイスを受けて、館自身でロードマップを作成していく
- 伴走支援を受けることで、専門家が課題解決を行う場合と比して、博物館の学芸員や職員等が課題解決に継続的に取り組むためのノウハウとスキルを習得することが可能

博物館等への支援

伴走支援の内容

3. 本事業の内容

博物館関連団体等に専門家を派遣し、同団体を通じて、加盟または連携する館に対して、専門家の派遣及び集合研修を実施



博物館関連団体等に対する伴走支援の具体的なイメージ

- 本スキームでも各館が抱える課題を解決する主体は博物館の皆様です。
- 各テーマの専門家は、博物館関連団体等に派遣されたうえで、①②双方の支援を実施します。
 - ① **加盟または連携する館が自ら実施する課題解決に向けた取組に伴走し、各館の現状を踏まえて専門的知見に基づいた助言やコンサルテーション**（例は博物館と同様）
 - ② 中核館に加えて加盟または連携する館まで含めた**全体研修、ワークショップ**
- 伴走支援を受けることで、専門家が課題解決を行う場合と比して、博物館の学芸員や職員等が課題解決に継続的に取り組むためのノウハウとスキルを習得することが可能

3. 本事業の内容

本事業では、博物館の抱える様々な課題のうち、3つのテーマに絞って専門家を派遣

テーマ

デジタルアーカイブ、
コンテンツ造成支援、
知識・技術の提供

展示や広報発信の
改善を行うための支援、
知識・技術の提供

ファンドレイジング活動
支援、知識、技術の提供

各テーマにおける具体的な内容



- 博物館におけるデジタルアーカイブの作成やDXに資するような整備、資料の価値や魅力を伝えるためのコンテンツ造成などの取り組み



- 博物館の持つミッションや目的に沿った効果的な展示や、観覧者の満足度を向上させるための取り組み
- 博物館が有するコンテンツや魅力を最大限伝えるために広報発信の改善を行う取り組み



- 運営資金獲得方法の多角化、特定事業の財源獲得等を通して、博物館活動の充実につなげるための、戦略的かつ持続的なファンドレイジングに関する取り組み

3. 本事業の内容

博物館におけるデジタルアーカイブ作成やDXに資するような整備、資料の価値や魅力を伝えるためのコンテンツ造成を実施

| 派遣対象となる事業内容 | 主なカテゴリ | 博物館の課題例 | |
|--|--|--|------------------------------------|
| ①デジタルアーカイブ、 コンテンツ造成支援、 知識・技術の提供 | デジタルアーカイブの推進 | 多くの博物館において、資料や目録のデジタル化が進んでおらず、Webサイトでの公開やデータ連携が不十分 | デジタルアーカイブの基本的な知見が不足している |
| | | | 目録作成・整理に関する知見が不足している |
| | | | 適切なメタデータ（資料に紐づけた情報）設計に関する知見が不足している |
| | | | 撮影やスキャン等、資料のデジタル化への対応が難しい |
| | | | デジタルアーカイブシステム導入に関する知見が不足している |
| | | | 公開用サイトの構築・運用ができていない |
| | | | Japan search等のプラットフォームとの連携ができていない |
| | 著作権や肖像権等の知的財産権、アーカイブに関する扱い方に関する知見が不足している | | |
| デジタルコンテンツの充実 | デジタル技術を活用した新しい鑑賞・体験モデルの構築が十分に進んでいない | ICTを導入した新しい鑑賞・体験モデルの企画ができていない | |

3. 本事業の内容

博物館のミッションや目的に沿った効果的な展示企画や、コンテンツ・魅力を最大限伝えるための広報発信の改善を実施

| 派遣対象となる事業内容 | カテゴリ | 博物館の課題例 | |
|------------------------------|-------|--|--|
| ②展示や広報発信の改善を行うための支援、知識・技術の提供 | 展示の改善 | 博物館のミッションや目的に沿った、効果的な展示や来館者の満足度を向上させる取組等の企画・運営が十分にできていない | 展示資料が持つ多様な価値や魅力を来館者に分かりやすく提供できていない |
| | | | 情報の取捨選択や、多様な来館者視点で「翻訳」するノウハウが不足している |
| | | | ワークショップイベント等の改善や企画・運営、評価検証についての知見が不足している |
| | 広報の改善 | 博物館が有するコンテンツや魅力を最大限伝えるためのコンテンツ作成や広報発信が十分にできていない | 広報全般に関する知見が不足している |
| | | | インターネット・SNSを通じた広報や交流活動が十分にできていない |
| | | | テレビやラジオなどその他のメディアに適した広報活動が十分にできていない |

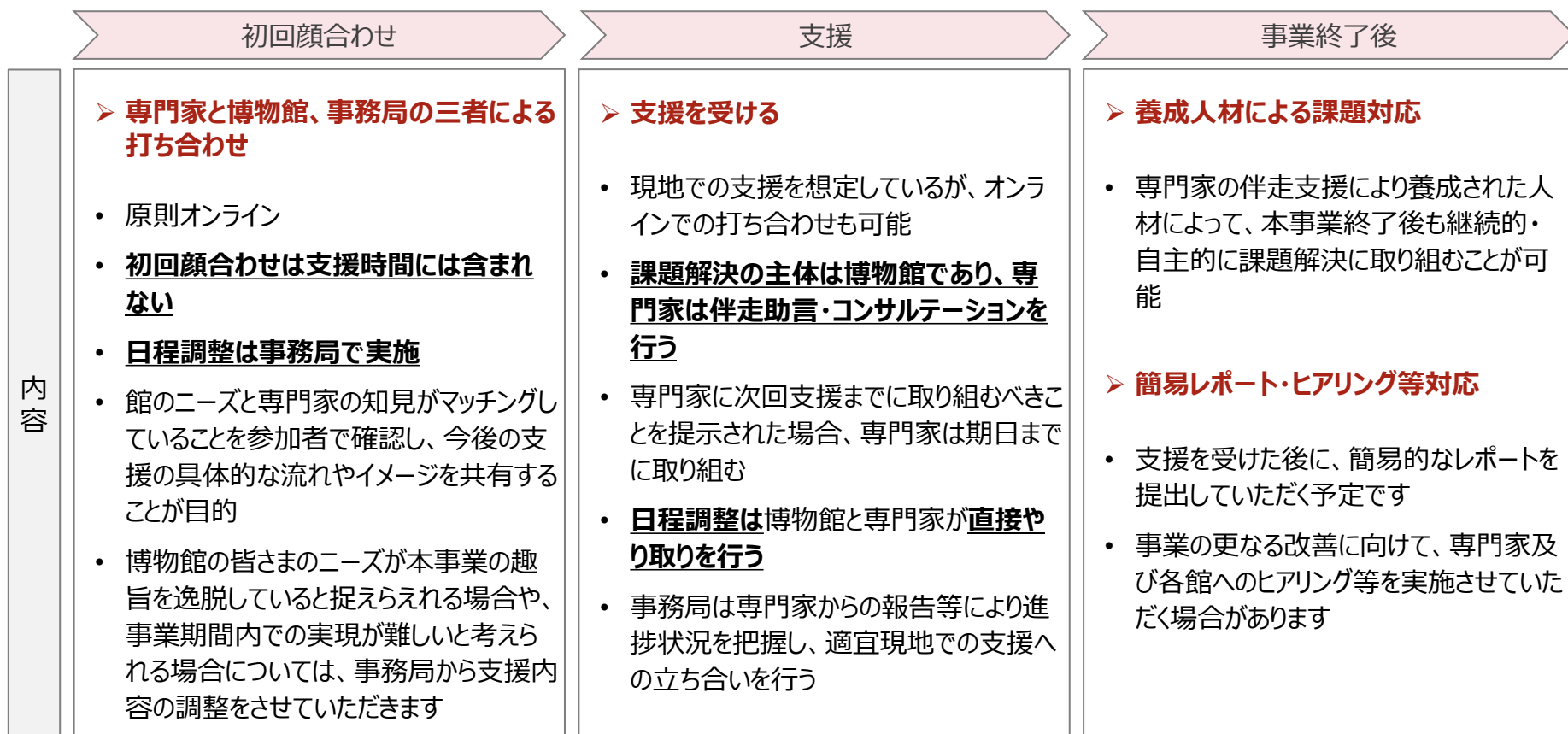
3. 本事業の内容

運営資金獲得方法の多角化・特定事業の財源獲得等を通して、博物館活動の充実に繋げるためのファンドレイジングを実施

| 派遣対象となる事業内容 | カテゴリ | 博物館の課題例 | | |
|-----------------------------|----------|--------------------------------------|--|----------------------|
| ③ファンドレイジング活動 支援、知識・技術の提供 | 支援の取り付け | 個人からの支援を十分に獲得できていない | 通常寄付や友の会等のメンバーシップ会費など個人からの支援を十分に獲得できていない | |
| | | 民間企業からの支援を十分に獲得できていない | 民間企業からの運営支援や協賛等のスポンサーを十分に獲得できていない | |
| | 持続的な資金獲得 | ファンドレイジングの各手法の理解と、戦略的かつ持続的な実施ができていない | クラウドファンディングなどの取組が単発的になってしまう | ふるさと納税の活用が十分に行われていない |
| | | | 遺贈寄附に繋げていくような支援者育成が十分に行われていない | |

3. 本事業の内容

採択後は、初回面談まで事務局がセッティングし、その後は専門家と博物館の両者で伴走支援を実施



3. 本事業の内容

本事業では、個別の博物館単位と、博物館協会等や地域の中核館単位の2種類が対象

| 区分 | 博物館 | 博物館関連団体 |
|----|---|---|
| 数 | 30 施設 | 3 団体 |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none">館種・規模は問いません。登録博物館・指定施設（申請中含む*1）のみ申請可能です。 | <ul style="list-style-type: none">地域の博物館協会や館種別団体・ネットワーク、または複数の館と連携した地域の中核的な位置づけを担う館（中核館）のうち、<u>5館以上の加盟館を有する団体が対象</u>加盟または連携する博物館に対する全体的な研修の実施や、各館における伴走支援について取りまとめを行うことを想定（<u>研修実施のみ、個別館支援のみは不可</u>） |

*1 申請中であることの証左（メールのやり取りや申請書類等）を提示していただきます。

3. 本事業の内容

各テーマにおいて博物館側から寄せられる課題にはレベル感に差が出てくるものと認識しており、幅広くニーズをくみ取る想定

各テーマで博物館側が抱える課題（仮説）



3. 本事業の内容

派遣時間数はそれぞれ個別博物館は最大30時間、博物館関連団体等は最大150時間とし、幅広い支援に対応させています

| 種類 | 派遣時間 | 現地応訪 |
|----------|---|-----------------------------|
| 博物館 | 1施設 最大30時間 まで *1 *2 | 1施設 最大3日 まで往訪可能*3 *4 |
| 博物館関連団体等 | 1団体 最大150時間 まで*1 *2 -加盟の個別館は 最大30時間 まで | |

*1 往訪に加えて、オンライン会議や電話・メールでの支援等、幅広い支援方法を対象とする。**必ず往訪での支援を1回以上含めること**

*2 専門家が支援するにあたり必要となる準備時間や報告書作成等の時間も含むため、記載の**最大時間全てを博物館支援の時間に充てられる訳ではない**旨に留意

*3 事業の実効性を確保するため、往訪の際は1回あたり3時間以上（移動時間除く）の支援を実施予定

*4 関連団体については、団体全体への支援と、加盟する個別館（最大5館）それぞれに対して最大3日ずつ往訪可能

3. 本事業の内容

派遣される専門家は原則1名(ケースによっては複数人の場合もあり)とし、支援途中での専門家の交代は不可

- 派遣専門家による支援の実効性を高めるために、支援期間を通じて原則同一の1名を派遣することを想定しています。
- 同時に複数人の専門家を派遣した場合の方が、効率的かつ効果的に課題解決することができる場合は、この限りではありません。事務局からの承認が必要になります。
- 関連団体の支援については、支援時間が長く設定されているため、複数の専門家が支援を分担して担当する可能性があります

<参考>派遣される専門家の主な業種と専門スキル

※あくまでもイメージであり、実際に各館に派遣される方とは異なる場合がありますのでご注意ください

| | | | |
|-------|--|--|---|
| テーマ | デジタルアーカイブ、コンテンツ造成 支援、知識・技術の提供 | 展示や広報発信の改善を行う ための支援、知識・技術の提供 | ファンドレイジング活動 支援、知識、技術の提供 |
| 主な業種 | <ul style="list-style-type: none">デジタルアーキビストデジタルアーカイブ事業者デジタルコンテンツ制作の専門家等 | <ul style="list-style-type: none">各種メディア関係者コピーライター展示制作に関する事業者等 | <ul style="list-style-type: none">ファンドレイザークラウドファンディング事業者等 |
| 専門スキル | <ul style="list-style-type: none">資料をデジタル化して保存する専門知識を持つ人材博物館が有する魅力や価値をデジタルコンテンツ化していくための人材 | <ul style="list-style-type: none">資料の価値や魅力を伝える解説等の改善や、映像・音声コンテンツを作る専門知識を持つ人材 | <ul style="list-style-type: none">活動の充実のためのファンドレイジングやパブリックリレーションズの専門知識を持つ人材 |

3. 本事業の内容

専門家の派遣に必要となる諸経費は事務局において負担するため、博物館側において受け入れに関する経費負担なし

- 専門家派遣に必要となる諸経費（謝金、交通費、宿泊費）については、事務局が専門家とやり取りをして支払うため、博物館側での経費負担はありません。ただし、受け入れに必要な経費*1が生じた場合については、博物館側でご負担いただきますようよろしくお願いいたします。
- 専門家への謝礼等の精算手続き時に、各館の皆様に内容のご確認をいただくことがある場合がございますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
- 上記諸経費以外は本事業の経費対象外ですが、ご不明な点がある場合には事務局までお問い合わせください。

*1 例) 博物館側の用意する資料の印刷費
ゲストWi-Fiがない場合の借り上げ費 等

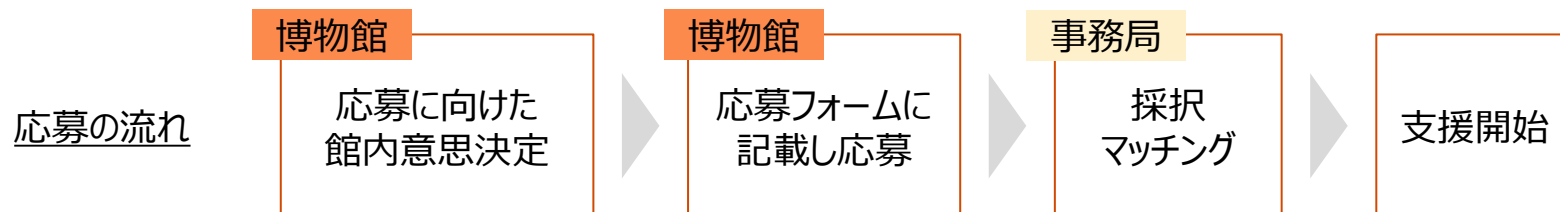
4

応募方法

4. 応募方法

フォームにより応募していただき、館特有の課題に即した専門家をマッチング

| 応募概要 | 内容 |
|------|---|
| 目的 | 主体的な課題解決に伴走支援する専門家の派遣を希望する博物館から、応募選定及び専門家とのマッチングに必要な情報を収集するため |
| 方法 | <ul style="list-style-type: none">本事業用HPに「応募」ページを新設し、当該ページにフォームを貼付する予定 <p style="text-align: center;">令和7年度「博物館機能強化推進事業（専門の人材派遣）」</p> <p style="text-align: center;">※事業用HPバナー TOP 事業概要 事業への応募 先行事例 説明会 よくある質問 お問い合わせ 令和6年度事業</p> |
| 時期 | 2025年7月18日（金） から 2025年8月10日（日） まで |
| 審査方法 | 後述の 重点項目が明確に記載されている博物館/関連団体を選定し、選定された館の中から抽選にて採択館/採択団体を決定 |
| 備考 | 応募後に、事務局において選定作業を実施し、事業開始までに採択の可否をご連絡いたします。 |



4. 応募方法

応募に際しては、各館/団体単位での申請とし、原則1テーマ（複数の場合は優先順位付け）を選択

| 留意事項 | 内容 |
|-------|---|
| 応募対象 | 博物館及び博物館館関連団体が対象となります。詳細は本資料 p.25をご確認ください。 |
| 申請単位 | 博物館及び博物館館関連団体等いずれの場合であっても、それぞれの施設/団体単位での申請をお願いいたします。なお、重複申請となった場合には、事務局において判断させていただきます。 NG例) A博物館のB課、C課からそれぞれ申請を行う |
| テーマ選択 | 1 館/団体 1 テーマでの申請をお願いいたします。 <ul style="list-style-type: none">• 複数テーマを希望される場合には、優先順位をつけていただきます。• 全体の選定状況により、必ずしもご希望に添えない場合がある点についてはご了承ください。 昨年度採択された博物館/関連団体が、昨年度と同様のテーマで応募するのは不可とします。 (昨年度事業で支援を受けたテーマと異なるテーマでの応募は可) |

4. 応募方法

応募フォームに具体的に記入していただくことで、応募選定及びニーズを踏まえた、専門家との適切なマッチングが可能

事業応募フォームに入力が必要な項目

| 項目 | 概要/留意事項 |
|--------------------------|---|
| 専門家に助言をもらいたいテーマ | 3つのそれぞれのテーマについて、専門家に助言をもらいたい事項を選択してください。（複数選択可） 選択肢の中に該当する事項がない場合は、自由記述にて詳細にお伺いいたします。 |
| 現状・課題 | 選択したテーマに沿って、館における現状と課題をご記入ください。適切な支援につなげていくためにも、具体的にご記入をお願いします。 デジタルアーカイブについては、アーカイブ化したい資料の種類や現在の目録の状況についてもご記入ください。 ファンドレイジングについては、ファンドレイジング全般に課題がある場合は、検討されている資金調達方法/分野についてもご記入ください。 |
| 重点項目 本業務に関わる人員 | 本事業における課題解決の主体があくまでも館にあることを踏まえ、実際に課題解決を行う博物館側の人員体制についてご記入ください。 運営を指定管理者やPFI事業者が担当している場合はその旨もご記入ください。 |
| 本業務に関わる博物館担当者のスキル | マッチングや実際の支援を行うにあたり必要となる博物館担当者の現時点でのスキルについて、できる限り正確にご記入ください。 |
| 事業理解 | 本事業は、それぞれの博物館が主体的に取り組む課題解決に際して、当該分野の専門家が助言・指導・研修といった伴走支援を実施するという位置づけの事業であり、実施主体は博物館であることを正確に理解しているかについて「はい」か「いいえ」でお答えいただきます。 |
| 将来構想 | 課題解決に向けて、専門家派遣によって実現したい目標や将来像を具体的にご記入ください。館の将来構想を正確に把握することで適切なマッチングにつなげていくため、内容をできる限り明確かつ具体的にご記入ください。 |

重点項目の記載イメージについては次ページにてご説明

4. 応募方法

重点項目の記載例

| 重点項目 項目 | 記載イメージ |
|-------------------|--|
| 本業務に関わる人員 | <ul style="list-style-type: none">・学芸員1名が他の業務と兼務して担当・学芸員3名で分野ごとに担当・専門スタッフ1名が担当 |
| 本業務に関わる博物館担当者のスキル | <ul style="list-style-type: none">・基本的なMOSを使用した作業は可能・エクセルでの基本的なデータ管理は行えるが、高度なことはできない・MOSの活用法を熟知しており、高度な関数を組んだExcelによる分析が可能 |
| 事業理解 | 本事業の趣旨を的確に理解されているかについて「はい」か「いいえ」でお答えください。 |
| 将来構想 | ・本事業を通じて△△という知見を獲得し、将来の当館の〇〇という目標の実現に活用していきたい。 |

4. 応募方法

支援終了後にレポート提出やヒアリングを依頼する予定

| 留意事項 | 内容 |
|---------|--|
| 簡易レポート | <ul style="list-style-type: none">• 支援を受けられたすべての博物館の方には、支援を受けた内容や、受けて感じられた本事業の改善点等を簡単に記載いただき、レポートを作成いただく予定です。• 所要時間は1時間以下程度で、ひな形は事務局にて事前に配布し、記載していただく形式を想定しております。• 関連団体として採択された場合には、個別支援を受けた博物館の取りまとめも含めて、レポートを作成いただく予定です。 |
| 事後ヒアリング | <ul style="list-style-type: none">• 本事業は、博物館の機能強化を目指し、博物館現場に各分野の専門的人材を派遣して伴走支援を行う事業です。次年度以降に向けて更なる改善を図るために、事後にヒアリングをご依頼する場合がございます。ヒアリングを依頼させていただいた際には、ぜひともご協力をお願いできれば幸いです。 |

<参考> 実際の応募フォーム画面のイメージ

※あくまでも現時点のイメージであり、内容に変更がある可能性もありますのでご注意ください。

令和7年度「博物館機能強化推進事業（専門的人材派遣）」

TOP

事業概要

事業への応募

先行事例

説明会

よくある質問

お問い合わせ

令和6年度事業

TOP > 保護中: 事業への応募 > 「デジタルアーカイブ、コンテンツ造成支援、知識・技術の提供」の申請

「デジタルアーカイブ、コンテンツ造成支援、知識・技術の提供」の申請

(※) は必須項目です

▶ 優先度の選択 (※)

- ・原則1館1テーマでの申請をお願いいたします。
- ・複数テーマを希望される場合には、優先順位をつけていただけます。
- ・1テーマのみ申請の方は「優先順位が最も高いテーマ」を選択してください。
- ・全体の選定状況により、必ずしもご希望に添えない場合がある点についてはご了承ください。

選択してください ▼

▶ 団体博物館情報

施設名/団体名 (※)

館種 (※)

選択してください ▼

設置者 (※)

選択してください ▼

運営主体 (※)

選択してください ▼

法区分 (※)

選択してください ▼

5

質疑応答

5. 質疑応答

- ご質問がある方は、**Teamsの「手を挙げる」機能を使用**してください
- 事務局より指名された方は、博物館名/博物館関連団体名とお名前をお伝えいただいたうえで、質問を始めてください
- 多くの方が参加されているため、**質問は簡潔に**お願いいたします
- 重複した質問は避けていただきますようご協力をよろしくお願いいたします
- 説明会終了後も、専門的人材派遣事務局の電話やメールにてご質問を受け付けております

Thank you

www.pwc.com/jp